



部活動の 地域移行について

令和5年5月21日
佐賀市議会 議会報告会
第2部 分科会
福祉教育委員会

目次

- 部活動の地域移行とは
- 地域移行の背景
- 国の動き
- 県の動き
- 佐賀市の動き

部活動の 地域移行とは

公立中学校における**休日
の運動部の部活動を外部に
移行**する部活動改革の1つ。

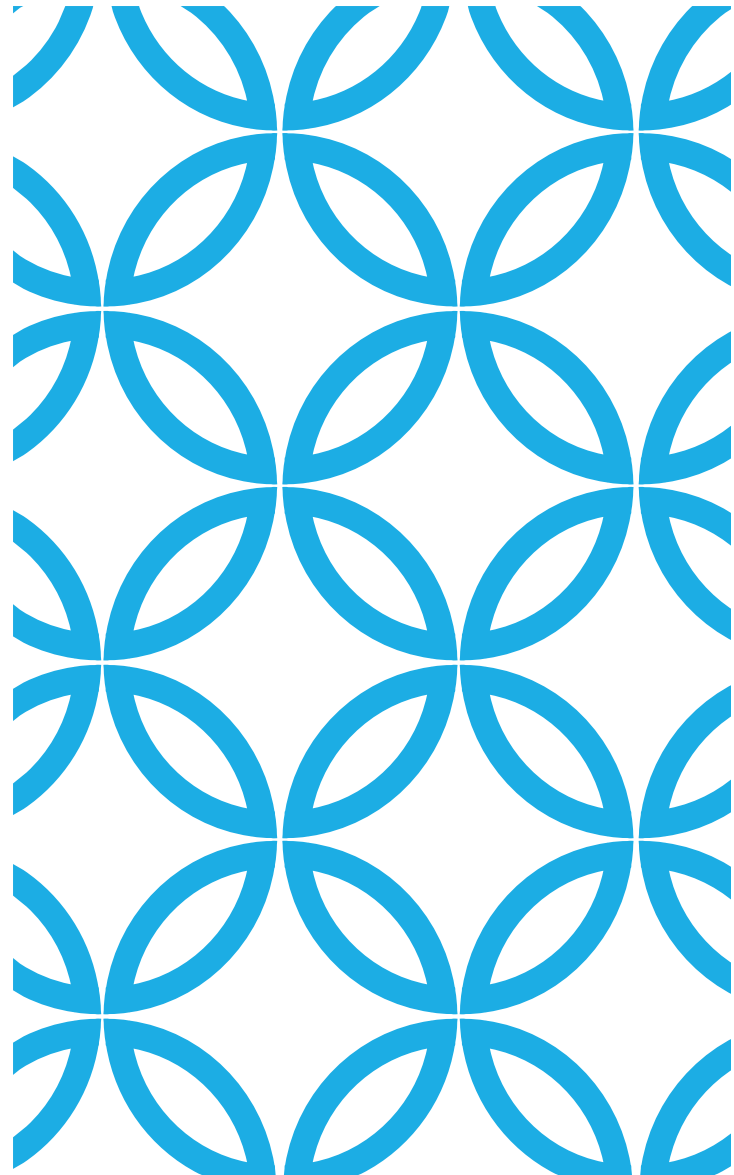
従来の部活動では主に教員が指導を行いますが、部活動の地域移行では**外部の
部活動指導員**が行います。

背景①

少子化による
部活動の減少

背景②

教員の働き方改革



国の動き

運動部活動改革のこれまでの
経緯・取組について

運動部活動改革のこれまでの経緯・取組について

✓ 「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」（平成30年3月）

生徒に望ましいスポーツ環境を構築する観点に立ち、運動部活動がバランスのとれた心身の成長等を重視し、**地域、学校、競技種目等に応じた多様な形で、最適に実施**されることを目指す。

生徒のスポーツ環境の充実の観点から、学校や地域の実態に応じて、スポーツ団体、保護者、民間事業者等の協力の下、**学校と地域が協働・融合した形で地域におけるスポーツ環境整備**を進める。

✓ 「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」（中教審答申・平成31年1月）抜粋

特に、中学校における教師の長時間勤務の主な要因の一つである部活動については、地方公共団体や教育委員会が、学校や地域住民と意識共有を図りつつ、地域で部活動に代わり得る質の高い活動の機会を確保できる十分な体制を整える取組を進め、環境を整えた上で、**将来的には、部活動を学校単位から地域単位の取組にし、学校以外が担うことも積極的に進めるべきである。**

✓ 公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の一部を改正する法律案に対する付帯決議（衆・令和元年11月、参・12月）抜粋

政府は、教育職員の負担軽減を実現する観点から、**部活動を学校単位から地域単位の取組とし、学校以外の主体が担うことについて検討を行い、早期に実現すること。**

✓ 「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」（令和2年9月）抜粋

休日の部活動における生徒の指導や大会の引率については、学校の職務として教師が担うのではなく地域の活動として地域人材が担うこととし、地域部活動を推進するための実践研究を実施する。その成果を基に、**令和5年度以降、休日の部活動の段階的な地域移行を図るとともに、休日の部活動の指導を望まない教師が休日の部活動に従事しないこととする。**

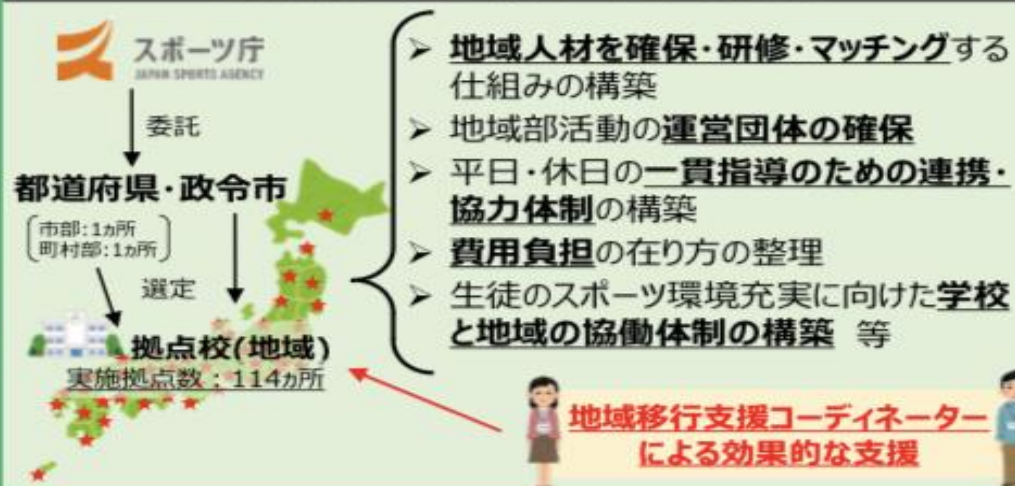


令和3年度より、予算事業として「**地域運動部活動推進事業**」（2億円）を新設し、休日の部活動の段階的な地域移行や合理的で効率的な部活動を推進。

I. 休日の部活動の段階的な地域移行 (学校と地域が協働・融合したスポーツ環境の整備)

令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、様々な課題に総合的に取り組むために、**全国各地の拠点校(地域)**において**実践研究を実施し、研究成果を普及**することで、休日の地域部活動の全国展開につなげる。

拠点校(地域)における実践



成果の検証・普及

◆ 実現方策の検討

⇒ 成果や課題について評価・分析を行い、関係者とともに解決方策や地域の実情に応じた地域移行の進め方を検討

◆ 地域移行説明会の実施

⇒ 拠点校における優れた取組や成果を域内に展開し、全市町村において取組を促進

情報発信

◆ シンポジウムの開催

⇒ 全国における多様な好事例を情報発信し、部活動改革の実現に向けた取組を加速化

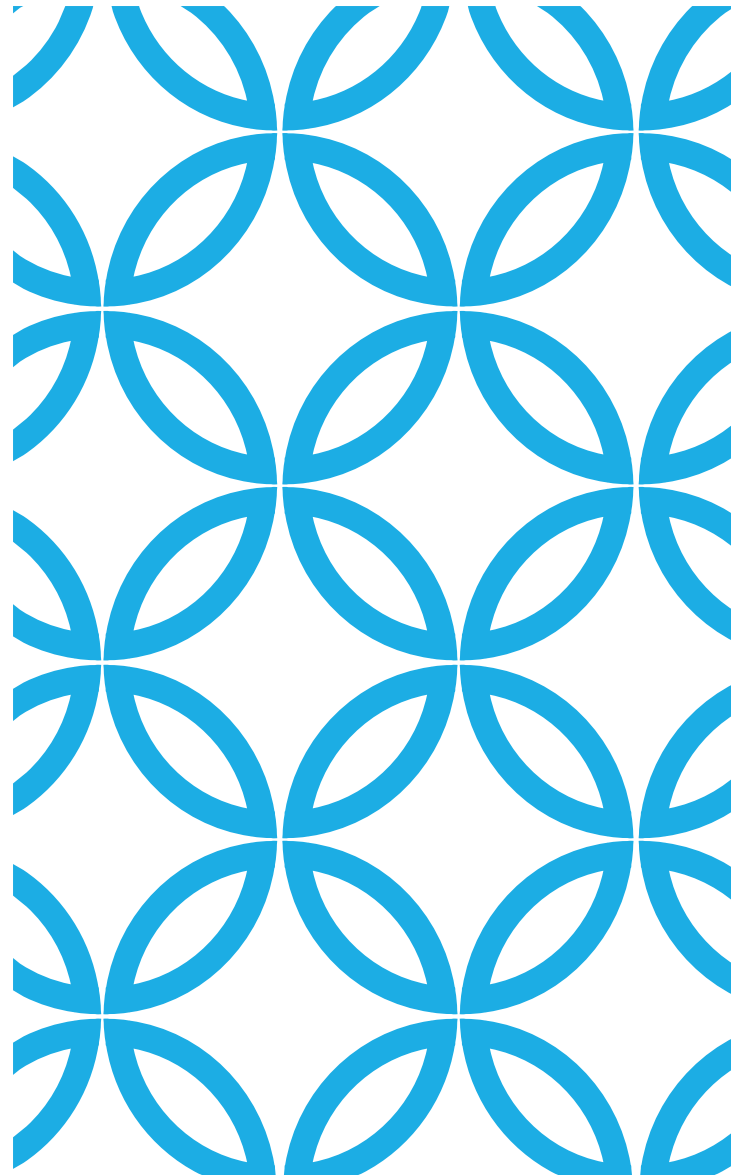
II. 合理的で効率的な部活動の推進

- 地域の実情を踏まえ、都市・過疎地域での**合同部活動によるスポーツ活動機会の充実**に向けた実践研究を実施する。
- スポーツ医科学の知見に基づいた科学的なトレーニングの導入や効率的な部活動の管理・運営の推進など、ICTを活用しつつ、**短時間で効果的な活動の推進**に向けた実践研究を実施する。

III. 生徒にとって望ましい大会の推進

- 大会の在り方の見直しに向けて、調査・実践研究を実施する。
 - 地方大会の実態を踏まえ、**参加大会数の設定や参加大会の精選の考え方・手法等**について明らかにする。
 - 令和5年度以降を見据え、**学校単位に限らず、生徒の多様なニーズに対応できる大会形式やレギュレーション等の在り方**を検討し、先導的なモデルを創出する。





県の動き

チーム佐賀・オール佐賀で支える
“SAGA部活”

チーム佐賀・オール佐賀で支える
“SAGA部活”

～提案書～



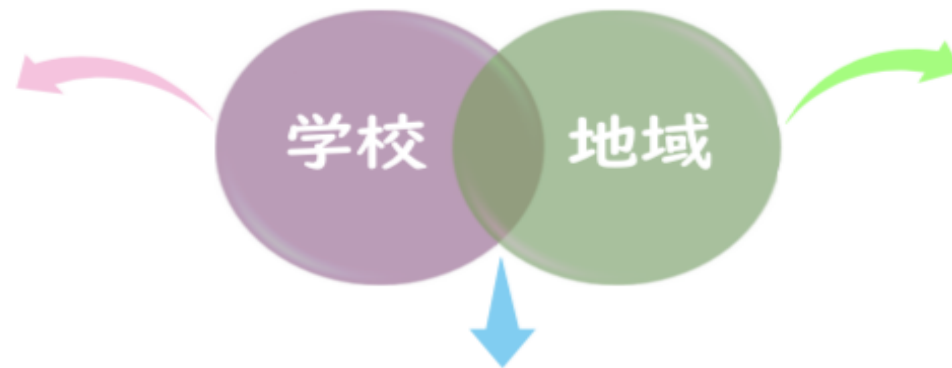
SAGABUKATSU ミライプロジェクト委員会

◆ コンセプト ◆

- **子供たちがスポーツや文化芸術に触れられる機会を確保する。**
⇒ 様々なパターンの活動を支援
- **子供たちや指導者、それぞれの想いを形にした部活動改革を推進する。**
⇒ 多様化するニーズに応じた体制を整備

「学校」と「地域」の力を結集！！

学校の教育活動と連動しているなどのメリットがある**学校**の活動



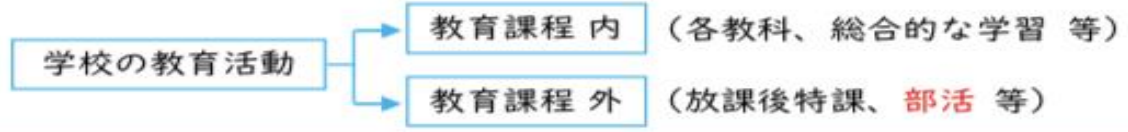
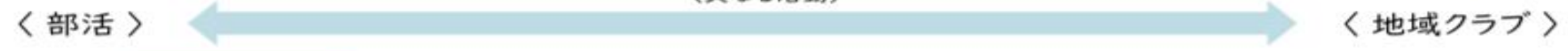
一貫指導体制の確立などのメリットがある**地域**の活動

学校と**地域**が連携・融合した活動

これまでの部活

部活 = 学校で行われる子供たちの活動

学校が
主体



SAGA部活

部活 = 学校や地域で行われる子供たちの活動

学校と地域が
共に主体

◆ 「学校」と「地域」の力を結集



< 学校部活動 >

< 学校部活動 > + < 地域部活動 >

< 地域部活動 >

(地域クラブを含む)

※ 将来的には
地域のウェイトが高まる

5. 教職員のSAGA部活への関わり方

平日

休日

< 学校 部活動 >

学校業務として
指導に従事



< 学校 部活動 >

兼職
兼業

< 地域 部活動 >

兼職兼業を申請して
指導に従事

< 地域 部活動 >

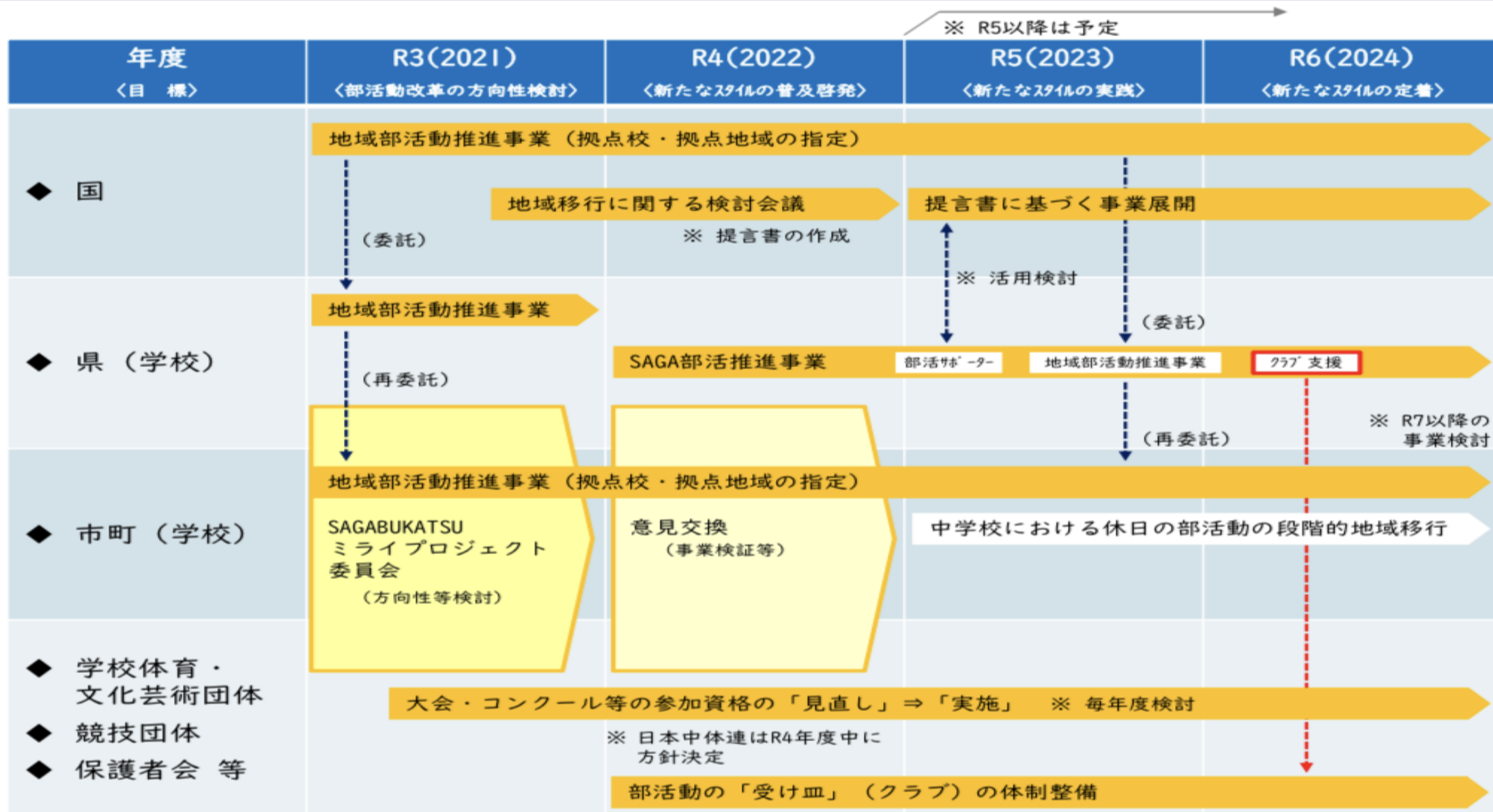
自主的な活動として
指導に従事 ※ 無報酬（交通費等、実費
相当額の受領は可）

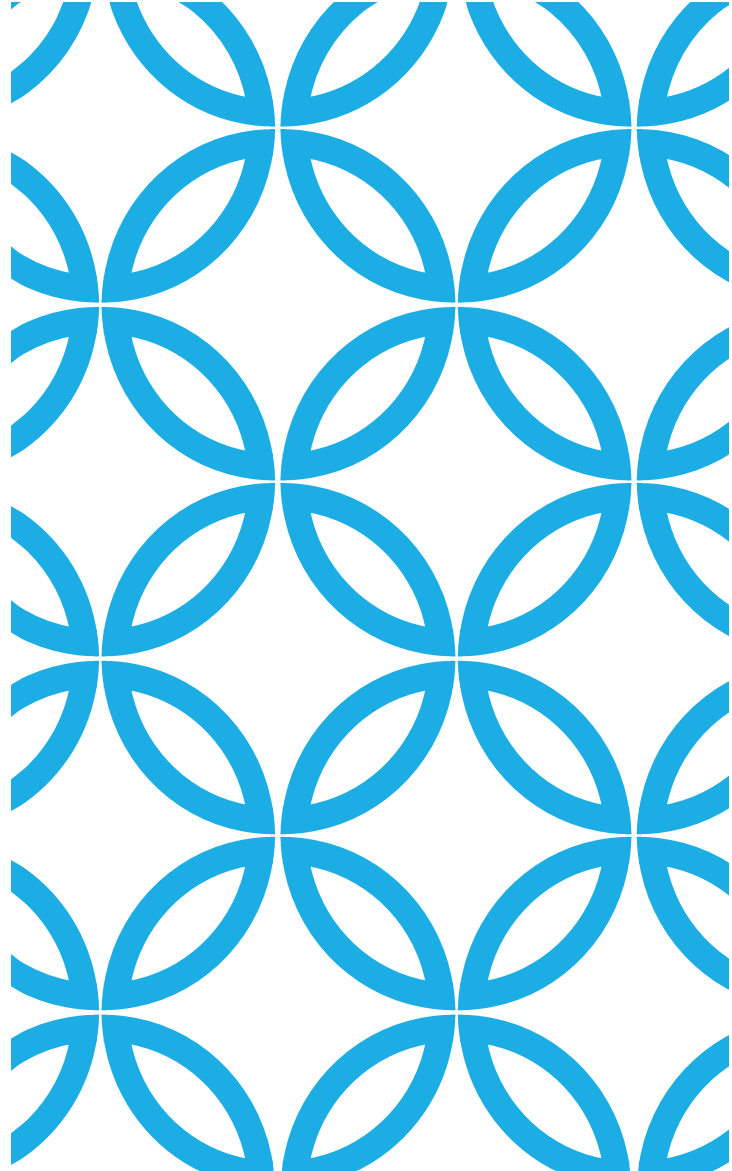
< 地域 部活動 >

指導には携わらない

※ 平日の兼職兼業も有り得るが
「指揮命令系統」「実施場所」「指導体制」
「活動形態」「活動内容」
等に鑑み、学校業務の一部とみなされる場合は不可

7. ロードマップ





佐賀市の動き

佐賀市立中学校の
休日部活動地域移行について

令和5年3月15日 福祉教育委員研究会

目的

「持続可能な活動」

「子どもたちのニーズに応える活動」

にするとともに

「教職員の働き方改革につながる」

地域移行となるよう検討・準備を進めること

休日部活動地域移行
検討委員会

委員：教職員、保護者、中体連
文化部の各代表、庁内の関係部署
代表

開催回数：3回

令和4年8月、11月、令和5年2月

今後の方向性

令和8年度から
休日の部活動を
学校教育として
執り行わない

課題

- 地域の受け皿となる団体の確保
- 指導者の確保
- 地域間格差
- 施設等の管理
- 費用負担
- 平日部活動と休日部活動のすみ分け

etc

地域移行案 (提案)

拠点校方式

6. モデルパターン 4/11

区分	型名	方式名
A. 学校部活動	3. 合同型	A-3-① 拠点校方式

概要

- 1つの校種(世代)が1つの学校に集まり、合同で活動する。(例:A中学校に、B中学校とC中学校も加わり3校で活動する。)
- 競技種目・分野別に拠点校を定める。

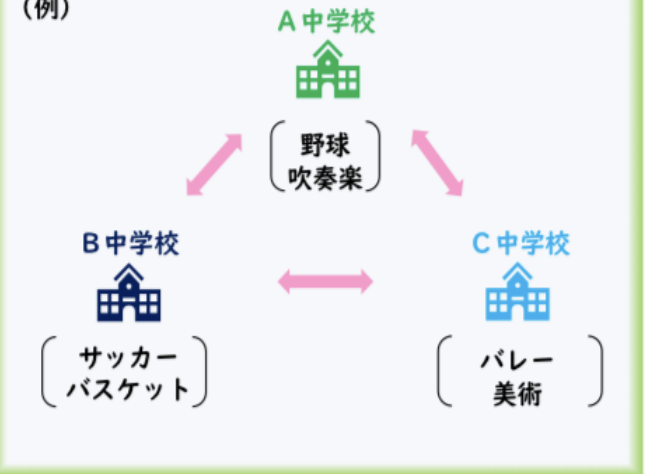
適合ケース

- 部員数が少なく、単独校では十分な活動を行うことができない。
- A校には専門の教職員がいるが、B・C校には専門の教職員がいないなど。

メリット

- 特に団体競技などにおいて、充実した活動を行うことができる。
- 複数校の教職員が順番で指導にあたるなどのルールを決めることで働き方改革にもつながる。

(例)



課題		対策例
移動に時間がかかる。	⇐	曜日別に単独/合同活動を定める。
大会参加の可否が各大会の参加要件に左右される。	⇐	参加要件の緩和や参加可能な大会の選択。

地域移行案について の意見

生徒数、実施場所、指導者等、
競技それぞれに状況が異なる
ため、拠点校を置くブロック
の分け方一つとっても各競技
団体との確認が必要であり、
連携を取りながら進めていく
必要性を確認

スケジュール案

4 スケジュール（案）

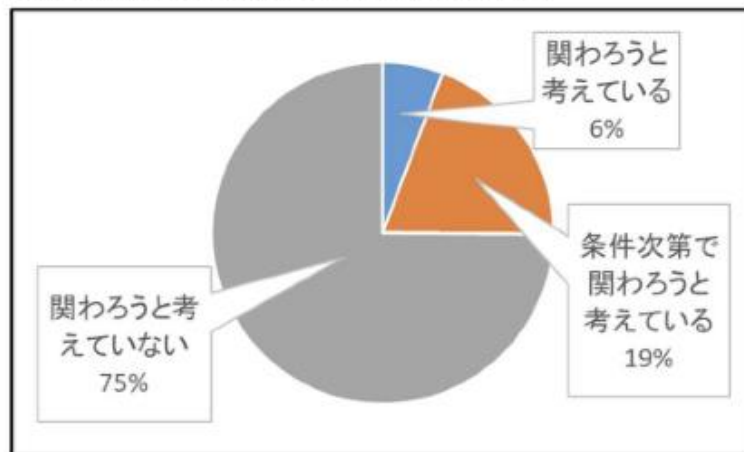
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
○モデル部活動での先行実施、検証	_____→ (3部活動)	_____→ (複数部活)	_____→ (複数部活)	完全移行
○休日部活動地域移行推進協議会（年5回）			_____→	
○地域移行に向けた諸問題解決のための具体的取組の検討、遂行（統括コーディネーターの配置）				_____→
○地域移行についての周知、協力依頼			_____→	

アンケート結果 (一部抜粋)

《参考》休日の地域クラブ活動への移行に関するアンケート結果

◆教職員（対象：佐賀市立小中学校勤務教員 回答者数：769人）

①あなたは指導に関わりますか。

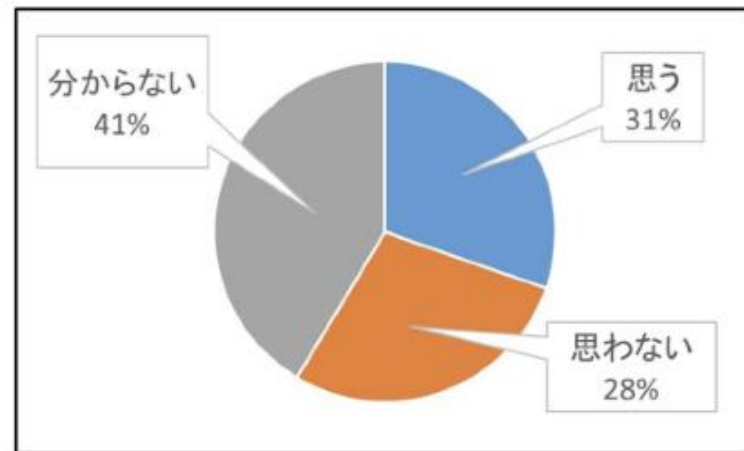


②指導に関わることでできる競技・種目

- 野球 31名
- サッカー 25名
- ソフトテニス 25名
- バスケットボール 23名
- 卓球 21名
- 吹奏楽 21名
- 剣道 17名

◆生徒（対象：中学1年生、2年生 回答者数：3,364人）

①休日部活動に参加しようと思いますか。



②参加したい・やってみたい競技・種目

- サッカー 214名
- バスケットボール 185名
- バドミントン 177名
- ソフトテニス 172名
- バレーボール 159名
- 野球 154名
- 吹奏楽 64名